

3.Kahinju小学校と地域の給水改善(ウガンダ)

- 実施団体: Rwenzori Aid
- 実施地: ウガンダ 西部地域カバロレ県Fort Portal City
- プロジェクト費用: 2,141ドル (JWFファンド1,380ドル、団体617ドル、受益者144ドル)
- 受益者数: 1,025人 (生徒982人、男性教師13人、女性教師30人)
- 実施地の水問題:

ウガンダの人々にとって、水へのアクセスが限られているのは大きな課題の一つである。35%以上の村落では清潔で安全な水へのアクセスがなく、学校に関しても50%未満しか安定した水へのアクセスがない。西部のフォートポータル市にあるこの学校も水供給が不安定で、週2回自治体から給水されるのみである。学校には982人の生徒と43人の教師がおり、近隣住民も水の供給に同じ課題を抱えている。貯水タンクの設置は、学校と地域コミュニティがともに使用する水の貯蔵に役立てられる。

【実施前】



近隣の井戸から水を汲む生徒



井戸から水を汲む住民

- 主な活動内容: 雨水貯水槽・校内手洗い場8カ所・地域2水栓の設置、校内衛生クラブの設置、WASH衛生習慣研修、女子学生生理用品実習、教務委員会による施設管理等。
- 特長: 学校と地域の連携により、学校側と地域が使用料を徴収して、管理組合が維持管理をする。
- 団体: 地元 Fort Portal Cityに2016年設立。WASH活動を主に青少年女性の向上、環境問題に取り組む団体。スペイン援助をもとに、4年で20万人以上の小学生にWASH運動を展開する等の経験がある。

3. Kahinju小学校と地域の給水改善 (ウガンダ)

【実施中】



給水栓設置工



学生へのWASH衛生習慣研修



Ms. Nyangoma Christineさん
(43歳)

日本水フォーラムによるこの学校へのご支援を感謝します。清潔で安全な水へのアクセスに向かっていけるようになり、心からの感謝の意を表します。



雨水貯留タンク、給水栓設置工



生理用品作成実習



Ms. Kemigisa Jenniferさん
(37歳)

北部地域の女性カウンセラーは、プロジェクト完了とプロジェクト成功への関係者による努力を大いに評価しました。また、設立された給水施設の適切な使用と維持管理を奨励しました。

【実施後】



給水栓を使う生徒



地域給水栓の使用状況



Ms. Karungi Mollyさん (10歳)

素晴らしいお仕事をされた受益者のみなさんありがとうございました。前は水を探すために長い距離を移動しなければならなかったのですが、その上に安全でなかったです。